

## 建築物等のエネルギー消費性能に係る任意評定を取得 『土間床等の外周部の線熱貫流率』

一般社団法人日本木造住宅産業協会（以下、木住協）は、2026年3月、日本ERI株式会社より「土間床等の外周部の線熱貫流率」の木住協仕様に関する任意評定を取得しました。現行の外皮平均熱貫流率（UA値）における基礎の線熱貫流率の基準（旧評価方法）が2026年10月31日をもって廃止され、11月1日からは新基準（新評価方法）に統一されることから、木住協会員が一般的に採用する基礎形状等を前提に、新基準に基づく土間床等の外周部の線熱貫流率（ $\Psi$ ）に関する任意評定を取得したもので、個別物件の外皮平均熱貫流率の計算をより適切に行うことを可能としました。この任意評定は、木住協会員以外の方もご利用可能とする予定です。

### 1. 背景

基礎断熱とする場合の基礎及び土間床等の外周部の熱損失の評価方法が、旧評価方法の土間床等の外周部の熱損失と基礎の熱損失（基礎壁400mmまで）を一体として評価する方法から、新評価方法では、土間床等の外周部の熱損失と基礎の熱損失は別々に評価することとなります。木住協のモデル住宅を用いた新基準による外皮平均熱貫流率の試算では、これまでより約10%程の不利側の評価となる可能性があり、より適切な評価とするために基礎形状等に応じた基礎の線熱貫流率の整理が求められていました。

### 2. 概要

本任意評定の対象となる建築物は、木造軸組工法又は枠組壁工法の住宅等で、土間床としては、玄関土間（隣接する玄関収納室、勝手口を含む）や内土間、ユニットバス（シャワールームユニットを含む）下、並びにホームエレベーター下の土間等としています。具体的基礎仕様は、べた基礎又は布基礎であり、基礎の寸法や断熱材の種類及び厚み等に応じた基礎の線熱貫流率として約240パターンを整理し、より適切な計算を可能としています。

この「土間床等の外周部の線熱貫流率」木住協仕様に係るセミナーを7/13（月）に予定しています。

### 3. 木住協仕様の基礎形状図（計算モデルa～c：べた基礎、計算モデルd～f：布基礎）

	土間床上端が地盤面よりも高い場合	敷地内の基礎近傍に崖等あり	土間床上端が地盤面よりも低い場合
べた基礎	計算モデルa 	計算モデルb 	計算モデルc 
	計算モデルd 	計算モデルe 	計算モデルf 
	計算モデルg 	計算モデルh 	計算モデルi 

以上

本件に関する問い合わせ先

一般社団法人 日本木造住宅産業協会 技術開発部 足立 朋樹

〒106-0032 東京都港区六本木1-7-27 全特六本木ビルWEST棟2階 TEL: 03-5114-3012 FAX: 03-5114-3020

ホームページ <https://www.mokujukyo.or.jp>